News release

株式会社アクティオ

2026年11月26日

～現場に分散する情報をひとつの画面で遠隔監視～

「サイトダイバー」の販売代理店契約を締結

トレーニング不要の簡単操作で、全国の建設現場のDXを支援

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ（本社：東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼COO：小沼直人、以下アクティオ）は、株式会社DTSのグループ会社で、組込み事業を展開する株式会社DTSインサイト（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長　實原克哉）が展開する「サイトダイバー」の販売代理店契約を2026年11月26日（木）に締結し、全国の建設現場のDX推進を支援していきます。

DTS Insight



【「サイトダイバー」画面イメージ】

現在、建設業界では、労働力不足や働き方改革に伴う時間外労働の上限規制への対応が大きな課題となっています。こうしたなか、限られた人員で生産性を高めながら、現場の安全を確保することが求められており、建設現場におけるDXの推進がますます重要になっています。

今回、販売代理店契約を締結した「サイトダイバー」は、建設現場で扱われるさまざまな情報を一画面に集約し、関係者間で共有できるソリューションです。現場のカメラ映像をはじめ、気象情報、図面、連絡事項、BIM/CIMなどの3Dモデル、各種センサーのデータなど、複数のツールに分散している情報をダッシュボード上で一元的に確認できます。また、現場の状況を遠隔から把握できるため、現地に足を運ぶことなく現場管理を行うことが可能です。

アクティオは今後も「レンサルティング」のノウハウを活かし、建設現場のDXと生産性向上に貢献する商品やサービスを提供していきます。

■「サイトダイバー」特長

①一画面でさまざまな情報を一度に確認

「サイトダイバー」では、現場のリアルタイム映像、センサーデータ、気象情報、図面、連絡事項などを統合して表示できます。さまざまな情報の一元管理が可能となり、複数のシステムや画面を切り替える手間を削減します。

②現場に行かなくても一画面で状況把握

事務所やオフィスから遠隔で現場巡視を行えるため、現場への移動時間を大幅に削減し、業務の効率化を実現します。

③既存設備をそのまま使用可能で導入が手軽

既に導入中のネットワークカメラやセンサーの流用が可能です。Webブラウザからアクセスできるため、専用アプリのインストールや面倒なトレーニングは不要です。

④最新機能による安全管理の高度化（動画共有・スライドショー機能）

直近のアップデートにより、動画ファイルの共有やスライドショー表示に対応し、現場における多様な運用をサポートします。

⑤定額制でユーザー数無制限

現場ごとの月額定額制※1を採用し、アカウント数による従量課金はありません。

⑥柔軟なカスタマイズ

お客様ごとの運用に合わせた画面レイアウトの編集や外部システム連携など、高い拡張性も備えており、個別カスタマイズの要望にも柔軟に対応します。

※1カメラなしの基本構成で月額1万6,000円（税込）から導入可能

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年　幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専業レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】https://www.aktio.co.jp/
【アクティオFacebookページ】https://www.facebook.com/aktio.jp/

■本商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ　レンタルDX営業部
TEL：03-6262-7497